令和２年度用小学校音楽

───────────────────────　年間学習指導計画作成資料　更新版（2020.5.22）───────────────────────

株式会社 教育芸術社

【本資料５月22日更新版について】

３月26日，国立教育政策研究所のホームページに，『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。

その内容を踏まえて，以下，２点を変更のうえ，更新版をアップいたします。

１．「学習指導要領の内容との関連」の◎と○の示し方について

弊社発行の「小学生の音楽」教科書の題材構成において，

各題材は，「何を中心に学習し，どのような子供の資質・能力を育てるのか（＝どのような観点で評価するのか）」という目標にそって教材が配列されています。

したがいまして，「Ａ表現」⑴歌唱，⑵器楽，⑶音楽づくりのア，イ，ウの各事項，「Ｂ鑑賞」のア，イの指導事項は，

各題材内の中で〔共通事項〕を要として教材どうしがつながり，ときに往還し関連しながら，指導されるように配慮されています。

また，学期ごとや１年間を通して，各観点がバランスよく位置付けられ，題材間の関連が図られているか，という視点にも配慮しています。

それらを踏まえ，別資料「指導計画案」との関連がより明確になるように，◎と◯の示し方を，下記のとおり変更いたしました。

■当初アップした資料：各教材の学習において中心となる指導事項を◎で示し、関連する指導事項を○で示す

　　　↓

■今回の更新版：【評価に関わっている】指導事項を◎で示し，それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を○で示す

また，下記の教材については，

別資料「指導計画案」において，評価の観点を追加したため，本資料には「◎」が追加されています。

■「打楽器でリズムアンサンブル」

■「キリマンジャロ」

２．題材から独立された歌唱共通教材について

「楽曲による題材」と捉え，当該楽曲の学習の位置付けを示し，指導事項アイウが網羅できるよう，評価の観点を加えました。

【本資料について】

・本資料は，教育芸術社発行の令和２年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽１〜６〈102〜602〉」に基づいて作成されています。

【題材の目標の書き方について】

・各学年の題材の目標は，学習指導要領（平成29年告示）に示されている，育成を目指す資質・能力の三つの柱，

　（１）「知識及び技能」の習得に関する目標

　（２）「思考力，判断力，表現力等」の育成に関する目標

　（３）「学びに向かう力，人間性等」の涵養に関する目標

　の視点に基づいて作成しています。

　（１）について，文章の前半では表現及び鑑賞の知識に対応する内容を，後半では表現の技能に対応する内容を示しています。

【指導する月の目安について】

・本資料で示されている扱い月は目安となります。２学期制と３学期制それぞれ示しておりますので，各校の実態に応じて，指導される月や学期を調整のうえ，ご活用ください。

　（※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については，

弊社HPの「臨時休校に伴う４月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。）

【扱い時数の目安について】

・教育課程で標準とされる授業時数に即し，各題材や「みんなで楽しく」などの巻頭・巻末教材も含めたかたちで，扱い時数を設定しています。

・巻末教材に配当された時数については，巻末教材を本文中の題材と関連付けて取り上げる場合や，授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて，扱い時数を調整するためにご活用ください。

・国歌「君が代」につきましては，『国歌「君が代」は，いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

【〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素について】

・太字で示されたものは，題材内で中心となる音楽を形づくっている要素になります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 第５学年　年間学習指導計画作成資料 | | | | | | | | 学習指導要領の内容との関連（ア：思考力，判断力，表現力等　イ：知識　ウ：技能　に関する資質・能力） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【第５学年及び第６学年 目標】  (1)曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに，表したい音楽表現をするために必要な歌唱，器楽，音楽づくりの技能を身に付けるようにする。  (2)音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや，曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。  (3)主体的に音楽に関わり，協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら，様々な音楽に親しむとともに，音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。 | | | | | | | | Ａ表現 | | | | | | | | | | | | | | | | | Ｂ鑑賞 | | 〔共通事項〕 | |
| 扱い月  の  めやす | | 扱い時数 | 題材名 | | 題材の目標  (1)「知識及び技能」の習得  (2)「思考力，判断力，表現力等」の育成  (3)「学びに向かう力，人間性等」の涵養 | 学習目標 | 教材名  ○…歌唱　◇…器楽　☆…音楽づくり  **♪**…鑑賞　(共)…共通教材 | 歌唱 | | | | | 器楽 | | | | | | 音楽づくり | | | | | | 鑑賞 | |
| 合計50 | ア | イ | ウ | | | ア | イ | | ウ | | | ア | | イ | | ウ | | ア | イ | ア 音楽を形づくっている要素 | イ 音符，休符，  記号や用語 |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ウ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) | (ア) | (イ) |
| 年間 | | ２ | 巻頭 |  | | 表現するときに大切なこと | 浅田真央さんからのメッセージ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 心をつなぐ歌声 | | 年間を通して愛唱したり，歌う楽しさを味わったりするための教材。 | ○ Believe | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ | ４ | ４ | 1.  歌声をひびかせて  心をつなげよう | | (1)音色，旋律や強弱などと曲想との関わりについて理解し，自然で無理のない響きのある歌い方や，伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。  (2)音色，旋律，強弱などと曲想との関わりを生かして，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。  (3)曲の特徴を生かして歌う学習に主体的に取り組み，友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わう。 | ・曲の感じを生かして，明るい声で歌いましょう。 | ○すてきな一歩 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  リズム  旋律  強弱 |  |
|  |  | ・曲の特徴を生かして，明るい声で歌いましょう。 | (共)こいのぼり | ◎ | ◎ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ | ５ | ５ | 2.  音の重なりを  感じ取ろう | | (1)旋律，音の重なり，音階や調などと曲想との関わりについて理解し，響きを感じ取りながら互いの音や声を合わせて表現する技能を身に付ける。  (2)楽器の音や歌声が重なり合う響き，旋律の重なり方の違いと曲想との関わりについて考え，それらを生かして表現を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもったり，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)楽器の音や歌声が重なり合う響きに興味・関心をもち，互いの音を聴き合いながら表現したり味わって聴いたりする学習に主体的に取り組む。 | ・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じ取りながら  演奏しましょう。 | ◇小さな約束 |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  旋律  音の重なり  音階  調  音楽の縦と横との関係 |  |
|  |  | ・歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。 | ○いつでもあの海は | ◎ | ◎ |  | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６ | ６ | ・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながら  ききましょう。 | **♪**アイネ クライネ ナハトムジーク  　第１楽章 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | **♪**プレリュード |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 〇 | 〇 |
|  |  | ８ | 3.  いろいろな音色を  感じ取ろう | | (1)音色，リズム，旋律や音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し，各声部の楽器の音色や楽器の音の重なり合う響きに気を付けて音を合わせて演奏する技能や，打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして音楽をつくる技能を身に付ける。  (2)楽器の音の組み合わせ方や重ね方を工夫した演奏の仕方や，反復，呼びかけとこたえ，変化などを用いて，どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもったり，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)友達と協働して音を合わせて表現したり，様々な楽器の響きに気を付けてオーケストラの音楽を聴いたりする学習の楽しさを味わって主体的に取り組む。 | ・いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら  演奏しましょう。 | ◇リボンのおどり(ラ バンバ) |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 〇 | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  リズム  旋律  音の重なり  反復  呼びかけとこたえ  変化 | アクセント  ヘ音記号 |
| ７ | ７ | ・オーケストラのひびきに親しみましょう。 | **♪**祝典序曲 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | **♪**アフリカン シンフォニー |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 〇 | 〇 |
|  |  | ・打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして，  リズムアンサンブルをつくりましょう。 | ☆打楽器でリズムアンサンブル |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |  |  |
| ９ | ９ | ４ | 4.  和音の移り変わりを  感じ取ろう | | (1)旋律，Ⅰ，Ⅳ，Ⅴ及びⅤ７の和音の響き，調や音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し，和音の移り変わりに気を付けたり，互いの声や音を聴き合ったりして表現する技能を身に付ける。  (2)和音の響きやその移り変わり，呼びかけとこたえについて聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら，どのように表現するかについて思いや意図をもつ。  (3)友達と協働して，和音の響きやその移り変わりを感じ取って表現する学習を通して，和音の響きへの興味・関心を深める。 | ・和音の移り変わりを感じ取りながら演奏しましょう。 | ◇○静かにねむれ | 〇 | ◎ | ○ |  | ◎ | 〇 | ◎ |  | ○ |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  旋律  音の重なり  和音の響き  調  呼びかけとこたえ |  |
|  |  | ・和音の移り変わりを感じ取りながら合唱しましょう。 | ○こげよ マイケル  　 (Michael, row the boat ashore) | ◎ | ◎ | 〇 | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  | ♪こげよ マイケル |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 〇 | 〇 |
|  | 10 | ５ | 5.  曲想の変化を  感じ取ろう | | (1)曲想と音色，リズム，旋律，強弱や歌詞の内容などとの関わりについて理解し，呼吸や発音の仕方に気を付けて，自然で無理のない，響きのある歌い方や，声や楽器の重なり合う響きに気を付けながら，声や楽器の音を合わせて表現する技能を身に付ける。  (2)曲想とリズム，旋律や音の重なりなどとの関わりを生かして，歌い方や演奏の仕方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもつ。  (3)曲想の変化を感じ取り，友達と協働して歌ったり合奏したりする学習に主体的に取り組む。 | ・曲想の変化を感じ取って，明るい声で歌いましょう。 | ○夢の世界を | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  リズム  旋律  強弱  音の重なり  呼びかけとこたえ | ナチュラル  くり返し記号  （1・2番かっこ） |
| 11 |  | ・曲想を生かして合奏しましょう 。 | ◇キリマンジャロ |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 11 | ６ | 6.  詩と音楽の関わりを  味わおう | | (1)音色，リズム，旋律，フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し，言葉や歌詞，旋律のまとまりに気を付けて歌う技能を身に付ける。  (2)言葉の感じと旋律，歌詞の内容と曲想との関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり，歌詞の表す情景を思い浮かべながら言葉や歌詞，旋律のまとまりを生かした歌い方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもったりする。  (3)友達と協働して，詩と音楽の結び付きについて考える学習を通して，日本の歌曲など，様々な音楽への興味・関心を深める。 | ・詩と音楽との結び付きに気を付けて，日本語の歌曲を味わいましょう。 | **♪**待ちぼうけ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色  リズム  速度  旋律  強弱  フレーズ |  |
| 12 |  | **♪**赤とんぼ／この道 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | 〇 |
|  | 12 | ・歌詞の表す情景を思いうかべながら歌いましょう。 | (共)冬げしき | ○ | ◎ | 〇 | ◎ | 〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・曲想を生かして歌いましょう。 | (共)スキーの歌 | ◎ | ○ | 〇 | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| １ | １ | ６ | 7.  日本の音楽に親しもう | | (1)音色や旋律，音階，拍などと曲想との関わりについて理解し，日本の旋律の特徴に合った歌い方で歌ったり，日本の音階を用いてまとまりのある音楽をつくったりする技能を身に付ける。  (2)音色や旋律，音階，拍などと曲想との関わりについて考え，それらが生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたり，それらを生かした歌い方や，どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて，思いや意図をもったりする。  (3)日本の音楽の特徴を味わって，それを生かした表現をしたり，日本の音楽のよさなどを味わいながら聴いたりする学習を通して，日本の様々な音楽への興味・関心を深める。 | ・日本の楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。 | **♪**春の海 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ | 音色  旋律  音の重なり  音階  拍  反復  呼びかけとこたえ |  |
|  |  | ・日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。 | (共)子もり歌 | ◎ | ◎ | 〇 | ◎ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | ・音楽の特徴を感じ取りながら，日本の民謡をききましょう。 | **♪**ソーラン節／かりぼし切り歌 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | ◎ |
| ２ | ２ | ・日本の音階を使って旋律をつくりましょう。 | ☆音階の音で旋律づくり |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 〇 | ◎ |  | ◎ | 〇 | ◎ |  |  |
|  |  | ６ | 8.  思いを表現に生かそう | | (1)音色，強弱，音の重なりや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し，音楽の盛り上がりや歌詞の表す気持ちを表情豊かに伝えるために必要な表現の技能を身に付ける。  (2)楽器の音の重なり合う響き，曲の山，旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりについて考え，それらに合った表現の仕方を工夫し，どのように表現するかについて思いや意図をもったり，曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。  (3)今までに習ったことを生かして，友達と一緒に思いが伝わるように音や声を合わせて表現したり，味わって聴いたりする学習の楽しさを味わいながら主体的に取り組む。 | ・きいている人に，音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。 | ◇威風堂々 |  |  |  |  |  | ◎ | ○ | 〇 | ◎ | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  | 音色  速度  旋律  強弱  音の重なり | スラー |
| ３ | ３ | **♪**威風堂々 第１番 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ◎ | ◎ |
|  |  | ・歌詞の表す気持ちを大切にして歌いましょう。 | ○大空がむかえる朝／ほたるの光 | ◎ | ◎ | 〇 | ◎ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |
| 年間 | | ４ | 巻末 | 歌いつごう 日本の歌 | | ・世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。 | ちいさい秋みつけた／海 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 全般 |  |
| みんなで楽しく | | ・各校の実態に応じて，弾力的に扱うことのできる教材。 | マイ バラード  ありがとうの花  A good day  それぞれの空  小さな鳥の 小さな夢  失われた歌  クラッピング ファンタジー 第４番  ギャラクシー 〜銀河をこえて〜  アフリカン シンフォニー | 〇  〇  〇  〇  〇 | 〇  〇  〇  〇  〇 | 〇  〇  〇  〇  〇 | 〇  〇  〇  〇  〇 | 〇  〇  〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 | 〇  〇  〇 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ※国歌「君が代」の指導については，各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。 | | | | | | | 国歌「君が代」 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |